

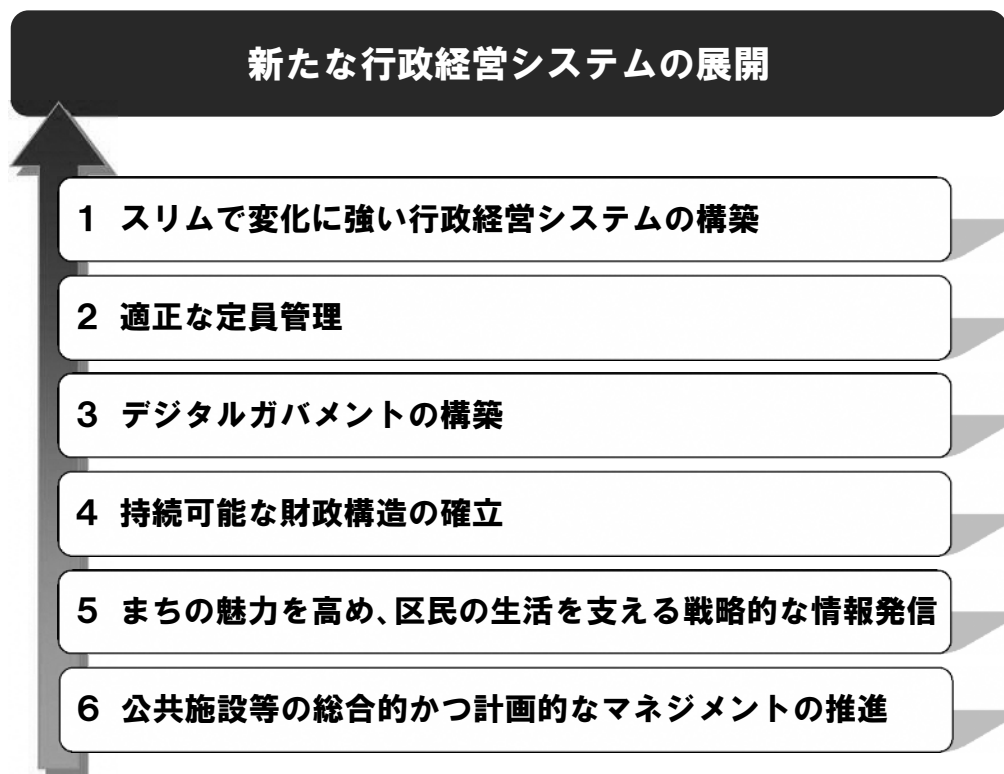
2 行財政システム改革の目標

日本は人口減少社会に入り、将来的には豊島区も人口減に転じることが想定されます。これからの区政は、少子高齢・低成長社会において、SDGsの推進やデジタル技術の発展など急速な社会の変化や新たな潮流に、迅速かつ的確に対応していくことが強く求められています。

区では、これまでも区民目線での行政運営、様々な主体との参画と協働による分かりやすい区政の推進に取り組んできました。地域が必要とする公共のニーズがさらに多様化し、増加していくことが見込まれる中、行政経営のあり方にも新しい視点を取り入れながら、不断の改革を行っていく必要があります。

豊島区は、日本の推進力となる「SDGs 未来都市」としての発展を通して、さらなる輝きを放つ「国際アート・カルチャー都市」を目指す都市像とし、区制施行 90 周年、そしてその先の 100 周年に向けて、豊島新時代を切り拓く新たなステージを迎えています。

限りある経営資源の中で、行政の役割を確固として果たし、参画と協働の仕組みを発展させながら、目指す都市像の実現や様々な施策の着実な推進を支える行政経営を展開していきます。



(1) スリムで変化に強い行政経営システムの構築

常に柔軟かつ効率的な組織運営を追及するとともに、絶えず成果重視の視点から事業の有効性や必要性を点検し、改善による効率化を図ることで、持続可能な行政経営システムを構築します。

〔主な取組〕 柔軟な組織運営の推進／マネジメントサイクル（PDCA）の活用／
業務プロセスの再構築／ビルド・アンド・スクラップによる事業の再構築

(2) 適正な定員管理

「最少の経費で最大の効果」を挙げるため、行政資源を最大限に有効活用するとともに、新たな行政ニーズや課題に対応するため、柔軟かつ効率的な組織運営や人材の育成などに努め、少数精鋭による執行体制を推進します。

全ての職員が共に働く職員の働き方を理解し、互いに能力を発揮し、誰もが活躍できる職場環境をつくります。

〔主な取組〕 柔軟な定員管理／人材育成と職場環境整備

(3) デジタルガバメントの構築

区民のニーズに応じた多様なサービスの提供や、業務改革、職員の働き方改革などを、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の視点から推進します。

デジタル技術を活用した地域課題の解決に向けて、地域の様々な主体による公共データの積極的な利活用を促進します。

〔主な取組〕 区民サービスのデジタル化／デジタルを活用した業務改革／民間との協働・データ利活用による新たなまちづくり／職員や区民の ICT リテラシーの向上

(4) 持続可能な財政構造の確立

必要な財政需要に確実に対応できる、計画的かつ安定的で持続可能な財政運営を継続します。

財源確保の取組を行いながら、適切な収納対策により、区税や保険料などの収入が安定して確保され、行政サービスの利用においても、受益者負担の適正化を保っていきます。

〔主な取組〕 計画的・安定的な財政運営／歳入確保の取組

(5) まちの魅力を高め、区民の生活を支える戦略的な情報発信

進化するデジタルツールの特性を有効に活用し、必要な区政情報を誰もが手軽に利用できる情報発信を実現します。

地域の魅力を最大限に引き出し、その魅力を国内外に戦略的に発信することにより、世界を魅了し、まちの価値を高め、区民などの誇りや愛着を醸成し続けます。

〔主な取組〕 多様な媒体を活用した効果的な情報発信／国内外への戦略的な広報の推進／広報マインドをもった職員の育成

(6) 公共施設等の総合的かつ計画的なマネジメントの推進

必要な区民サービスを持続的に提供しつつ、健全性や安全性を保っていくため、建物とインフラを含めた公共施設等を総体的かつ中長期的な視点から管理・運営・活用をしていきます。

〔主な取組〕 公共施設等マネジメントの推進／施設の適正管理等の方針